

事業所における自己評価総括表

事業所名	LITALICOジュニアなかもず教室 保育所等訪問支援
事業者向け自己評価表作成日	2026年3月5日（木）
自己評価総括の担当者	東仁田涼介

	実施期間	有効回答数(回答者数)	有効回答数(対象者数)
保護者評価	2025年12月19日(金) - 2026年1月29日(木)	11	12
従業員評価	2025年12月19日(金) - 2026年1月29日(木)	3	10
訪問先施設評価	2025年12月19日(金) - 2026年2月12日(木)	3	9

各評価を受けて事業所内で分析した強みと弱み

事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること
<p>CSアンケート結果より 高い専門性と的確な助言 アドバイスの質：専門的な視点による「的確なアドバイス」が保護者の信頼に繋がっています。 成長の実感：訪問を通じて子供の成長を可視化し、園からも褒められるような具体的な変化を生み出しています。</p> <p>情報共有・連携の質の高さ 三者連携（事業所・園・家庭）：園の担任教諭と課題を深く共有し、先生が感動するほどの丁寧な連携体制が構築されています。 可視化の提供：親が見ることのできない「園での様子」を丁寧に伝え、安心感を提供しています。</p> <p>柔軟かつ誠実な対応 個別最適化：本人や保護者の希望に沿った支援計画を立て、状況に応じた途中変更にも柔軟に対応しています。 傾聴姿勢：保護者の話をしっかりと聞き、子供の気持ちを尊重する姿勢が「相談しやすさ」やに繋がっている。</p>	<p>CSアンケート結果より</p> <p>マッチングの不透明性：担当者と家庭・子供との相性によって満足度が左右される可能性が示唆されていました。</p> <p>インパクトの不足（一部）：NPS 5点（可もなく不可もない）という回答から、一部の利用者様にとってはサービスの付加価値や「この事業所ならではの」強みが十分に伝わりきっていないケースが考えられる。</p> <p>サービス品質の均一化 非常に高い評価がある一方で、中位の評価が混在しているため、どの担当者が訪問しても高い成長実感や具体的な手立てが提供できるような、お伝え方法や情報の共有・仕組み化が今後の課題と言える</p>

過去の取り組みや課題の振り返り

工夫していることや意識的に行っている取組等	事業所として考えている課題の要因等
<ul style="list-style-type: none"> 通所支援と連携し、本児の特性の情報収集を行っている。 訪問のフィードバックの際、家庭・園・リタリコでの様子の違いや内容について相互に確認を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 園の先生が成長を感じたというエピソードを深掘りし、どのような情報（子供の強み、具体的な支援のヒント等）が喜ばれたのかをナレッジ共有の時間を捻出できていない。 保護者が求めている「普段見られない姿や課題とされていることに対しての成果の場面等」を、具体的なエピソードを交えて報告できていない。

さらなる充実と改善への取り組み

さらに充実を図るための取組等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等

・大きなアンケートだけでなく、訪問回数ごとに「今の進め方で違和感はないか」を軽くヒアリングする時間を設け、ミスマッチを早期に防ぎます。

・「通うごとに成長を感じる」という実感を高めるために、数ヶ月単位での変化や成長記録として提示し、成果を実感しやすくします。

・職員のコンサルテーション能力の向上研修。アドバイスの的確さをさらに磨くため、園の先生とのコミュニケーション術や、保護者の潜在的な悩みを引き出す研修やロールプレイングを実施する。